

第3学年「算数」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果**
- かけ算九九の学習に意欲的に取り組み、習得できた。
 - 図・式・言葉を用いて、自分の考えを示せるようになってきた。
- 課題**
- ▼ 時計・量感の学習に苦手を示す児童がいる。
 - ▼ 文章から立式に必要な情報を読み解くことが苦手な児童が多数いる。
 - ▼ 位が大きくなるにつれ、くり上がり・くり下がりを正確にすることが難しく感じる児童がいる。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 問題解決の過程や結果を図や式で表す力
- ◇ 単位の仕組みについて理解し活用する力
- ◇ 身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したり読んだりする力

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 必要に応じて、関連する下学年の学習内容の復習を授業に取り入れ、どの子も授業に参加しやすい環境をつくる。

言語活動の工夫

- 友達が発表した手順を説明する、ペアで説明し合う等、どの児童にも説明する力を育てるための場の設定を工夫する。

ICT活用の工夫

- モニターを利用してデータを示し、全員で確認しながら見出した特徴や傾向考えたことを話し合う。

課題解決力育成の工夫

- 振り返りの時間に「既習のこのような内容を活用した」「次はこんな問題にチャレンジしたい」などノートに書かせる。
- 学習した考え方を基に、発展的に課題解決をする学習を取り入れる。

達成目標

- 自分の考えを図や言葉を使って説明することができる。
- 単位の仕組みを理解して活用することができる。
- 身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表すことができる。